

二川中学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「二川トレジャー ～未来の創造、これからの社会で私たちができることは何か～」をテーマに掲げ、総合的な学習の時間、キャリア教育活動、学校行事などにおいて、地域を学習の場として取り組んでいる。
- ・1年生「地域発掘」、2年生「地域貢献」、3年生「地域参画」をそれぞれの学年テーマに、地域の人材、施設、企業を活用して、地域から学ぶとともに、地域で活躍したり貢献したりできる生徒の育成を目指す。

・活動の実際

① 地域に貢献し、関わる学習

(2年生・特別支援学級・吹奏楽部・PTA)

4年ぶりに開催することになった「二川宿本陣まつり」では、これまでの大名行列参加や本陣資料館案内ガイドに加え、2年生が企画したスタンプラリーなどで来場者を楽しませた。さらに、PTAによる「本陣茶屋」では、みたらし団子や五平餅を生徒が焼いて販売した。また、特別支援学級の生徒による手作り作品の販売や吹奏楽部による演奏もまつり会場の雰囲気を明るくした。



まつりに参加するにあたり、地域のかたを招いて本陣について理解を深めたり大名行列での奴踊りを習ったりするなど、地域と関わりながら準備を進めていった。そして、当日はお世話になったかたがたへの感謝の気持ちや自分たちが住む地域を久しぶりに盛り上げたいという生徒の思いがあふれるまつりの一日となった。



② 地域や世界へ向けて動き出す学習

(3年生)

3年生の総合的な学習では、SDGsを柱とした個人課題を設定し追究活動を行った。地域の企業や公共施設を訪ねるなど、フィールドワークやインターネットで調べ学習を進めた。地域に向けていた目は徐々に世界にも広がり始めた。のんほいパークで取り組んでいる動物の保全活動を呼びかけるポスターを制作しパークに掲示をしたり、古着リサイクルを行っている衣料品店に届けるために校内や近隣の小学校にも協力を求めたりした。

生徒が自らの追究成果について地域または世界に発信しようとする姿をたくさん目にすることができた。

